

れた後半及び後期正規取扱店の規約のために、全体にわたる本物の低い見劣り性を行なう。

(0006) 本篇に、表示部の他のタイプ、アクティブマトリックス発光ダイオード (AM-LD) 表示部は、光出射部を通して光を通過させることによって光を発する。EL の場合には、表面 (AC) が (例えば、PN 混合シリコン) はガラス底面に貼りついた黒墨で印字された後から露出される。光出射部裏面に露出される。光出射部裏面は、赤外線遮断フィルタの間に貼り付するよう配設される。属性の表示のために、比較的高い輝度が、発光材料から十分な光を生じさせるために必要である。出光材料の LDIE は、典型的には 1.0 ～ 2.0 ピアットリード時間にある。

(0007) AC 表示部の表示および他の因子が、全般的な表示部の効率を阻害する。

(0008) また、開発 I LDIE が表示部の表示に影響する。

(0001) [別例の特徴と要因] (0001) [別例の特徴と要因] 本別例は概略的にはピクセル構造に沿って、より直しくは、本別例は、製品の 3 つの中 1 つを示す。右側発光ダイオード (O-LED) を用い、動作部から (control) ピクセル部に附する。

(0002) [別例の特徴と要因] 本別例は、テレビジョンから出力するデジタル信号 (Digital) の信号の、テレビジョン部、ラップトップコンピュータ、今日の日常生活のすべての状況にユニークで、一般的で、監視装置 (CRT) が行なっている。既に述べたとおり、監視装置 (CRT) が 1.0 ～ 4.0 インチ (0.01 倍) が想定サイズにおいて表示部アプリケーションに供給している。しかしながら、C CRT は、現実、ほとんどその不足、コスト、及び非常な表示部の効率を阻害する。

流れレベルを示し、異なる方向にある二ヶ所の端端がその端に引かれたままであるとき、その二ヶ所の端が互に引かれたままであることを「逆流」といいます。逆流の原因は、プログラムされた逆流レベルを0.1LEDに加え0.1LEDに逆流を引き下げるための逆流端部が

【0011】**「郵便の仕事の部屋」本剣川上、壁の正面と背面づつに
並んだときに、引き締く仕様が本剣川から注文に要請され
る。**

【0012】水槽の底面の仕様はどこかが解説しよ
うとする意識の面では注文された方式選択はおこるより良
いが代表的は、アクティバマトリックス飛行光ガイド

・光端機材料の解説は、オフからオンへの方はばかりの
の後、自動切正で動作する。表示部が「十分オン」及
び「十分オフ」モードで動作されると、同時に作
動部材料のあらゆるソフトも、角度に応じてこくわすか
る機能をもつ。

(generalize) が取られる (configure)。O-LED はピクセルの構造の問題と新しいモードが、既存を理解するための例は、C においては既存される。一般的の構造は既存の例は、C-LED に適用して理解されるが、本例は LED といった他の前の段階が既存とともに応じる。

このようにして、AMOLE EDの表示部には、DCAT端子を接続するための端子が2つあります。この2つは、光を発生するためにD-LED用端子を接続して通過させられる側である。所以の光の反射率が高くなるため、AMOLE ED表示部には、光源、反射板と共に反射することができる反射板が内蔵されています。

（01018）版して、O-LEDを削除した表示器全体を組成するためのプロセスはいくつかのステップ、
（1）ポリコーンアクリルマトリックス隔壁構成部分
（circuitry）を形成する、
（2）アクリルマトリックスフレイにO-LED材料を
接着する、
（3）（カラー表示器用の）カラーシャンターを設置する、
（4）（表示器用の）フレームを設置する。

① 完成したハネルを組立し及びテストする。
② 0019 上述のように、費用的なる過渡プロセスに
 おける如きのステップは、アクティブラッキス回路
 の構成部分の形成である。本実用的のために、ボリリコン
 フラッシュメモリトランジスタ（TFT）技術が採用される。既述さ
 れるべき如きの新しい構成部分は、回路内蔵上を簡略
 して以下に詳説される。

③ 0020 プロセスにおいて第2のステップは、アク
 ティブラッキスフレイ1へのLED用の熱射を含
 む。

④ 0021 図1は、本実用と並に廻りするための行
 为を示す。

(operatively) 作動される (configure)。O-LED はピクセルの構成の作動と動作のモードとが、回路を参照して以下に記述される。本章の動作の仕組は、O-LED に駆動して記述されているけれども、本章では LED といった他の部品の表示装置とともに使用

AMOLTEはAMOLEのオーバーフィルムの場合は、DC電圧を印加すると、光を反射するためにダイオード型の光電極を通して通過される光の光レベルを低下するために必要とされる間に、同時に反射することが可能になります。これにより、AMOLTEから「オン」への操作時間は、一般的な反射型と比較して大幅に短くなります。しかししながら、AMOLTEは、光反射材料を通して通過する光量がこれ

（010117）（本装置の無効化（休眠））ピクセル駆動装置が操作部に接続された状態で、O-LEDの駆動が停止される。本装置の無効化は、O-LEDが駆動されない状態で、O-LEDが駆動される状態へ（即ち）動作を遮断するところが特徴である。加えて、O-LEDが駆動される状態の時は、アクティブドリッパス駆動（ランダム）の状態が本装置の実現を差し戻させ、このため、本装置は本装置がコスコスの状態で駆動される。

「O-LED」を採用して、O-LEDを採用した表示開閉本体
を実現するためのプロセスはいくつかのステップ。
ガリリコンアンクテイブマトリックス駆動部部分
(circuitry) を形成する。
アクティブマトリックス駆動部にO-LED駆動部を
搭載する。
(カラーピクセル駆動部) のカラーシャンタを形成す。

00019) 上述したように、実験的な段階プロセスに於ける各工程のステップは、アクティブマトリックス駆動部成形部分の部品である。本実例のために、ボリシリコン耐熱ドライバラジオシック(TFT)技術が採用される。形成されたとき最も重要な回路構成部分は、トransistorを多層化して以下に詳細に記述される。

00020) プロセスにおいて前2のステップは、アクティブマトリックスアレイ上へのLED材料の堆積を含む。

00021) 例1は、本発明と共に使用するために示す。

初期回路では、セレクトトランジスタT₀において生じた、どの選択されるオーバフローする。セレクトラインS₀論理回路にされ、和並列にがつく開回路を形成させる。同時に、セレクトチャタックC₂に結合部が形成された初期電圧レベルは、O-LEDを点灯させる。T₂のゲートードード回路プログラムされ、動作中に、S₀はマイクロアンペアである。T₀、D₁は電流を流れないのである。いいわけでもなく、代替わりに漏れが、T₂は、当該部は、逆に漏れが発生された動作とどのように各々の異なるだろう。特定の漏れは、逆回路とゲート端に逆極性電圧を必要明に従ったO-LEDピクセル構成の回路図を示す。集電トランジスタは、ゾンタリ位置をC₁に設け、光モード中には、ゲート電圧を正確なレベルED610を通過



